

20章 関係詞2

問題

【1】

A.

解答・解説

(1) Do you know (the reason) why Mary did not come to see me last Sunday?

「この間の日曜日、メアリが私に会いに来なかった理由を知っていますか？」

○ the reason why S V 「SがVする理由」

(2) I have forgotten (the place) where I left my camera.

「私はカメラを置いた場所を忘れてしまった。」

○ the place where S V 「SがVする場所」

(3) The time will soon come when all of your dreams will come true.

「あなたがたの夢すべてが実現する時はすぐに来ます。」

○ the time when S V 「SがVする時」

※ 関係詞節が長い場合には後置されることが多い。

(4) This is the way that we managed to conquer Mt. Everest.

「これが、私たちがエベレストをなんとか征服したやり方です。」

○ the way that (in which) S V 「SがVする方法」

B.

解答・解説

(1) whoever (= anyone who) 「それを求めに来る人誰にでもあげなさい。」

(2) wherever (= anywhere, any place where)

「行く所どこからでも便りをください。」

(3) Whatever (= Anything that) 「起こるものは得てして起こるもの。」

(4) Whichever (= No matter which)

「あなたがどちらの道を選ぼうと、市役所に着けます。」

【2】

解答・解説

(1) when 「この写真を見つけた3日前まで、これについてはすべて忘れていた。」

(2) when 「クリスマスはキリスト教徒がイエスの生誕をお祝いする時だ。」

関係副詞の先行詞が the time, the place, the reason などの時は省略されることが多い。

先行詞が省略されると、関係詞は名詞節を導く。

(3) when 「彼らが我々の助けを必要とする時が必ず来るだろう。」

先行詞と関係副詞節が離れていることに注意。

(4) which 「私はまだ見たことのない場所について考えるのが好きだ。」

関係副詞 where ではないことに注意。

- (5) where 「そのレストランはまた、多くのサーファーが出会い、場所や波についての情報を交換する場所でもある。」
- (6) which 「彼らは出発した場所に戻ってきた。」
They came back to the place. + They started *from the place*.
- (7) where
「彼は走りに走って、ついに、出発した場所から 100 キロ離れた町にいることに気が付いた。」
one hundred kilometers from (the place) *where* he started と考える。
- (8) which 「トーマスが先生に言った遅刻の理由は、全く説得力がなかった。」
目的格の関係代名詞 which が入る。
- (9) why 「ジェーンが学校に遅刻した理由は、全く説得力がなかった。」
why = for which である。

【3】

解答・解説

- (1) d 「パキスタンは彼が一度も訪れたことのない国の一つです。」
visit は他動詞であることに注意。
- (2) a 「私はニースでゴッホが描いた最後の絵を見てみたい。」
先行詞に the first, the last, the very, 最上級などの強い限定がある場合には関係詞は that になることが多い。
- (3) d 「私はいくつかのTシャツを試着したが、一つも気に入らなかった。」
I tried on several T-shirts. + I liked *none of them*.
- (4) c 「私は祖父が教えていた大学を訪れてみたい。」
where = at which である。
- (5) b 「ありがとう。これは私がまさに欲しかったものです。」
関係代名詞 what を選ぶ。
- (6) b 「このカフェは私が初めてマユミにあった場所だ。」
the place where の先行詞 the place が省略された形。
- (7) d 「リリーは、あなたも聞いたことがあるかもしれない画家と結婚したかったのだ。」
○ You may have heard of *him*. から考える。
- (8) c 「最初に、あなたはもっと勉強しなければいけない分野を予め知っておく必要がある。」
- (9) d 「この仕事は好きではない。やることと言えば、ただ顧客に我が社の製品を買いなさいと言うだけなのだ。」
all (that) I do と考える。
- (10) d 「悲しいことに、事態は私たちが予想していたようにはいかなかった。」
○ (in) the way (that) S V 「SがVするやり方で」

【4】

A.

全訳 人生は一連の小さな出来事からできている。その1つ1つは比較的重要ではないが、あらゆる人の幸福と成功はこういう小さな出来事の対処の仕方に左右される。

B.

全訳 科学の目的は予知することであって、しばしば言われてきたように、理解することではない。科学は将来の出来事を予言できるように、事実や物体や現象を細かく説明し、いわゆる法則によってそれらを結び付けようとするものである。

C.

全訳 スーパーマーケットで、そこでは子供が壊したりするようなものがほとんどなく、実際に何か壊しても1ドル以上するものはほとんどないのに、子供が目につくいろんなものを触ったり、手に取ったりしているからといって人々を取り乱すのを私はよく見たことがある。どうして子供がそうしてはいけないのか。そのようにして子供はそれらのものについて学ぶのだ。

D.

全訳 合衆国では、社会に管理されないことが極めて高く評価されるために、西部辺境地帯は理想と考えられてきたし、今でも昔の合衆国の純粋さを懐かしむ考え方の基礎として役に立っている。しかし、そうした純粋さは合衆国の都市化が進み、複雑さが増した段階ですでに失われてしまっているのだ。

【5】

解答

- (1) 歯を磨くこと
- (2) in the morning just before breakfast
- (3) 第1グループの人は虫歯菌に気を使い、虫歯の宣伝に左右されている。第2グループの人は、歯が光っているように願っている。第3グループは1日を新たに始める儀式として味覚を求めているのだ。(90字)
- (4) Advertising men
- (5) ② this explanation
⑤ their teeth
- (6) 「全訳」の下線部⑥参照。
- (7) bring in a new host of bacteria
- (8) ① at ③ In

全訳 歯磨きの習慣は、少なくとも、見たところ理屈に合わない行動の、最高の例である。なぜ

歯を磨くのかと人々にたずねれば、ほとんどの人が、歯磨きの主な目的は、歯のすきまから食べ物のかけらを取り出して、虫歯の菌と戦うことだと答えるだろう。練り歯磨き製造業者は何年もの間、この説明を受け入れ、それに基づいて販売促進活動を行っていた。しかし、歯磨きの習慣について調査をした宣伝担当者たちは、難問にぶつかった。ほとんどの人は1日に1度しか歯を磨かず、しかも、口腔衛生の観点から見ると、1日24時間の中で最も意味のない時間に磨いている、ということがわかったのである。それは朝食の直前で、その時間は、夕食の食べかすのため虫歯菌が一晩中、歯で活動したあとであり、朝食を食べることによって新しい細菌が大量に入ってくる直前なのである。

この一見不合理な行動に悩んだ、ある広告代理店は、我々が歯を磨く理由について、さらに徹底した調査を行った。それによると、我々が歯を磨く理由はさまざま、それは個人の性格によるという結論が出た。細菌のことを本当に気にして、「虫歯」の宣伝に影響される人もいる。また別の集団の人たちは、歯が光っているようにとの希望を抱いて磨く。⑥しかしながら、大部分の人は、主に、口腔衛生や歯にさえもほとんど関係のない理由から歯を磨いている。彼らは、口を完全に浄化し、夜のうちに溜まった味の悪さを取り除くために、歯ブラシと歯磨き粉を口に入れているのである。要するに、新たに1日を始める儀式の一部として、味覚への刺激を求めているわけである。

注

- ℓ. 1 ◇ toothbrushing habits 「歯磨きの習慣」
 - ◇ offer = give, provide
 - ◇ prime = first in time, rank, or importance; chief
 - ◇ behavior = way of behaving
- ℓ. 2 ◇ seemingly = according to what appears, usually opposed to what actually is so「一見したところ；うわべは」
 - ◇ irrational 「不合理な」 ⇔ rational = sensible; according to reason 「理にかなった」
 - ◇ brush one's teeth 「歯を磨く」
 - teeth 〈複〉 cf. tooth 〈単〉
- ℓ. 3 ◇ purpose = an intention or plan; reason for an action 「目的」
 - ◇ get A out of B 「AをBから取り除く」
 - ◇ particle = a piece (of something that is made up of very small pieces)
 - ◇ crevice = a narrow crack or opening 「裂け目；割れ目」
 - ここでは「歯の隙間」の意味。
- ℓ. 4 ◇ thus = therefore 「したがって」
 - ◇ combat = fight or struggle against
 - ◇ decay germ 「虫歯の菌」
 - decay = (especially of the teeth) the decayed parts 「虫歯」
 - germ 「微生物；細菌；病原菌」
 - ◇ tooth-paste 「練り歯磨き」
 - ◇ producer = a person or company that produces goods, foods, or materials 「製造者；メーカー」 ⇔ consumer 「消費者」

- ◇ accept = believe; admit; agree to
- ◇ explanation *n.* *cf.* explain *v.*
- ℓ. 5 ◇ base A on B 「Aの基礎をBに置く；Bに基づいてAをする」
- ◇ sales 「販売」
- ◇ campaign = a set of actions intended to obtain a particular result in politics or business
- ◇ advertise = make (something for sale, services offered, room to let, etc.) known to the public, as in a newspaper, or on film or television 「広告する；宣伝する」
- ◇ make a study of ~ 「～の研究をする」
- study = a thorough enquiry into a particular subject 「研究」
- ℓ. 6 ◇ however は but と違って、文の途中で、挿入的に用いることができる。
- ◇ come upon = come across = meet or discover, especially by chance
- ◇ puzzle = something that one cannot understand or explain
- ℓ. 7 ◇ pointless = meaningless
- ◇ moment = the time for doing something
- ◇ possible : 最上級の the most pointless を強調する働きをしている。「これ以上ないくらい～」
- ℓ. 8 ◇ entire = whole
- ◇ from ~ standpoint 「～の観点から」
- standpoint = a point of view
- ◇ dental hygiene 「口腔衛生」
- dental = of or related to teeth
- hygiene = the study and practice of how to keep good health, especially by paying attention to cleanliness
- ℓ. 9 ◇ had had a whole night to *do* 「一晩中…していた」
- ◇ work on ~ 「～にせっせと取り組む〔働く〕」
- ℓ. 10 ◇ left from ~ : particles を修飾している。
- ◇ supper = the last meal of the day, taken in the evening
- ◇ consumption *cf.* consume = eat or drink
- ◇ bring in = introduce
- ◇ a host of ~ = a large number of ~
- ◇ bacteria = very small living things (related to plants) , some of which cause disease. They exist in water, soil, air, plants and the bodies of men and animals.
- ℓ. 11 ◇ agency = a business that makes its money, especially by bringing people into touch with others or the products of others 「代理店」
- ◇ puzzle = make a great effort of the mind in order to understand or find the answer to a difficult question 「考え込む；頭を悩ます」
- ℓ. 12 ◇ thorough = complete in every way
- ◇ the reasons why ~ : why は先行詞 reason を受ける関係副詞。この why は省略さ

れることもある。

◇ conclude = come to believe after consideration of known facts 「結論を出す」

ℓ. 13 ◇ motivate = provide (someone) with a (very strong) reason or cause for doing something, taking some action, etc. 「～を動機づける」

◇ differing = various

◇ personality = the whole nature or character of a particular person

◇ concerned = worried; anxious

ℓ. 14 ◇ sway = influence

◇ appeal = power to move the feelings

◇ Another group = Another group of *people*

○ 前文の Some people と対比されている。

◇ in the hope (that) ... = hoping (that) ...

ℓ. 15 ◇ they = their teeth

◇ shiny = looking as if polished; bright

◇ majority = the greater number or amount; most 「大多数；大部分」

ℓ. 16 ◇ primarily = mainly; chiefly 「主に」

◇ have little to do with ~ 「～とほとんど関係がない」

cf. have something to do with ~, have nothing to do with ~, have a lot to do with ~

ℓ. 17 ◇ put A into B 「AをBに入れる」

◇ paste = tooth-paste

ℓ. 18 ◇ purging *cf.* purge = make (someone, someone's soul, something, etc.) clean and free from (something evil or impure) 「(不純物などを) 取り除く；浄化する」

◇ to get rid of ~: この to は in order to の to である。get rid of ~ は「～を取り除く」

◇ taste 「味；味覚」

◇ accumulate = make or become greater in quantity or size

◇ overnight = for or during the night 「夜のうちに」

◇ in short = to put it into a few words; all I mean is 「要するに」

ℓ. 19 ◇ look for ~ = try to find ~; try to obtain ~

◇ sensation = direct feeling (as of heat or pain) coming from the senses 「刺激 (を引き起こすもの)」

◇ ritual = one or more ceremonies or customary acts which are often repeated in the same form 「儀式」

◇ afresh = once more; again

【6】

解答

- (1) who (2) whose (3) why
(4) who (5) which (6) whom

解答

今回は関係詞の基本問題を集めた。「空所に続くものを見て、文が成立していれば関係副詞、文の一要素が欠けていればその格の関係代名詞を入れる」というのが、この種の問題の解き方の原則である。

- (1) 「あまりに丁寧すぎる人は信用できない。」

are too polite の主語が欠けているので、「人」で「主格」を表す who を入れる。

- (2) 「何歳か見当がつかない女性があそこにいる。」

There is a lady over there. と You could never guess her age. の2文を合成したもので、age の前にくるべき所有格が欠けている。したがって、whose が入る。なお、この could は仮定法。

- (3) 「これが、私がそこに行けなかった理由だ[こういうわけで私はそこに行けなかった]。」

I could not go there. は文として成立しているので、空所には関係副詞が入る。先行詞が the reason なので、入る関係副詞は why となる。

- (4) 「スキーがとても上手な少女を私は知っている。」

can ski very well の主語が欠けている。「人」で「主格」を表す関係代名詞 who が入る。

- (5) 「これが彼らがそこに行くのを妨げた理由だ[こういうわけで彼らはそこに行けなかった]。」

keep [prevent ; stop] ~ from ...ing で「～が…するのを妨げる」の意。「the reason が先行詞だから関係代名詞は why に決まっている」と早合点しないこと。kept them from going there の主語が欠けているので、「主格」の関係代名詞 which が入る。

- (6) 「彼が話をしている少女はトムの姉だ。」

The girl is Tom's sister. と He is speaking to her. の2文を合成したものの、her は前置詞 to の目的語で、to her の部分が前にシフトされて to whom となる。

【7】**解答・解説**

- (1) of which

「時間ほど我々が無駄にしがちなものはない。」

関係詞は wasteful of ~ 「～を無駄にして」の目的語として働くので、関係詞の前に of が必要となる。先行詞が「全・無」などを表す語の場合、関係詞は主に that を用いるが、「前置詞 + that」という形は用いられない（前置詞は末尾に置かれる）のでここでは which を用いる。

- (2) who [that]

「この人が、車を盗んだと彼らが言う男性です。」

◇人を先行詞とし主語として働く関係代名詞なので、who。

○ this is the man + they say (that) he stole the car

◇連鎖関係代名詞節。

- (3) of which

「脚の壊れている椅子を修理した。」

< the legs of the chairs

= We mended the chairs whose legs were broken.

(4) As

「当時の習慣であったが、彼らは早婚だった。」

◇主節の一部または全体を先行詞とする疑似関係代名詞 as の用法。

【8】

解答

(1) I don't feel like myself today.

(2) You don't seem like yourself today.

(3) He was loved by all, and above all [especially] by his own students.

(4) He is good at no subject, and least of all at mathematics.

(5) Put yourself in his shoes.

(6) Never say die!

(7) Contrary to my expectations, it was very cold in Fukuoka.

(8) As I expected, the summer lectures at Z-kai were very profitable.

解説

(1) 「自分は今日はどうかしている」「どうもいつもの自分と違う」という時の決まった表現は, I don't feel like myself today. である。「別人のように感じる」と考えて, I feel as though I were another person. としてもよい。

もし、「今日はずいていない」という意味で、「自分は今日はどうかしている」と言うのなら, Today is not my day. または Luck is not coming my way. などと言う。

(2) (1) は、「自分は今日はどうかしている」だったので, I don't feel like ~. を用いたが, 本問は、「君は」で始まっているので, feel ではなく, seem を用いて, You don't seem like yourself today. とすればよい。

(1) (2) ともししっかりと記憶していないと正答は難しい。くり返し音読して自分のものにしてほしい。

(3) 「とりわけ」「とくに」は above all, above all else [things], especially, among other things を用いることができるが, 注意すべきはこれらの表現は肯定文中だけで用いられるという点である。例文をあげておこう。

Ex. He is good at every subject, and above all at mathematics.

(彼はどの科目もできるが, とりわけ数学ができる。)

米国人インフォーマントによると, この例文で every subject; all subjects は自然であるが, any subject とすると意味はわかるが本人は使わないとのこと。

(4) 「特に～でない」「とりわけ～がだめだ」など, 否定文の中で「特に」という時は, least of all を用いる。この least of all は使いにくいので例文をあげておこう。

Ex. Nobody ought to complain; you least of all, who has received so much kindness.

(誰も不平を言うてはいけない。とりわけこんなに親切を受けたお前などは。)

Least of all would I want to hurt your feelings.

(君の感情を害しようとは思ってもかけないことです。)

否定の副詞が文頭にて、文否定になると、疑問文の語順になる点に注意。これは頻出事項。

(5) 「～の立場で考えてみなさい」に対応する表現は、

Put yourself in <i>one's</i>		position.
		place.
		shoes.

のズバリ3つ。

shoes が用いられるのは、どんな靴をはくかで、その人の地位がわかってしまうことから、「立場；境遇」を表すようになったためである。

(6) 「弱音を吐かないで」に対応する英語には、

① Stop whining!

○ whine [wáin] 「(犬などが) 鼻を鳴らす」→「弱音を吐く」

② Never say die!

③ Don't | cry | uncle!
| say |

などがあるが、「say を用いて」という条件に合うのは、②の Never say die! だけである。

A: English is just impossible!

B: Never say die!

(英語はどうにも手におえないよ。)(弱音を吐くな。)

のように使う。

(7) 「福岡はとても寒かった」は、it を主語にして、

it was very cold in Fukuoka

とすると自然な文になるが、この箇所は問題ないだろう。問題になるのは、「期待に反して」をどう処理するかであるが、

contrary to one's expectation (s)

という表現を知っていないと厳しい。もっとも、contrary to の代わりに against を用いて、

against one's expectation (s)

とする言い方もあるが、contrary to one's expectation (s) を知らないのに、against one's expectation (s) なら知っているということは稀であろう。いずれにせよ、これらの慣用的な言い回しを文頭において、

Contrary to		my expectation (s), it was very cold in Fukuoka.
Against		

とすればよい。

(8) 「Z会の夏期講習は期待通り、とても有益でした。」の隠れた主語は、話者、すなわちここでは「私」である。「Z会の夏期講習」はいろいろ考えられるが、

the summer		lectures		
		courses		at Z-kai
		classes		

とすれば、英語として意味が通じる。「とても有益だった」は、要するに「とても役立った」ということなので、

were very		useful
		instructive
		profitable

と処理する。問題は「期待通り」をどう処理するのだが、「私が予想していた通り」と考え、as I expected, または as I had expected, とすればよい。expect していたのは、講習が始まる以前なので、as I had expected の方が文法上正しいと感じるかもしれないが、全体を大きく過去の出来事と考えて、as I expected を用いる方が自然というのが、ニュージャージー州出身のインフォーマントのコメント。なお、この as I expected は、文の前・中・後のいずれに置いてもよいが、この as は非制限用法の関係代名詞であるので、コンマを忘れないこと。以上をまとめれば、本問は次のようになる。

◇ As I (had) expected, the summer		lectures		
		courses		at Z-kai
		classes		

were very		useful.
		instructive.
		profitable.

◇ The summer		lectures		
		courses		at Z-kai, as I (had) expected,
		classes		

were very		useful.
		instructive.
		profitable.

◇ The summer		lectures		at Z-kai were very		useful		
		courses				instructive		,
		classes				profitable		

as I (had) expected.

今日の一言

He who makes no mistakes makes nothing. 「失敗しない者は何もできない。」

勉強していると間違いばかり目について、やる気がなくなってしまうこともあるだろうが、落ち込む必要はない。この諺にもある通り、成功者はたいていミスを繰り返しているものである。大学入試も、間違えるからこそ実力がつき、合格へとつながるのである。今回もしっかりと間違えよう！ というのは少し違うかもしれないが…

添削課題

【1】

解答

- (1) That professor never opens his mouth without saying something worth listening to.
- (2) I wish we had paid no less attention to our [the] global environment than we did to our children.
- (3) I am inclined to think that I am none the wiser for reading this study guide.
- (4) Do you know what the last syllable but two in a word is called?
ある単語の語尾から数えて3番目の音節のことを antepenult と言う。
- (5) You should keep company with those who you have come to believe will come and help you at any time.

【2】

解答

- (1) This is especially the case [true] in warmer climates, where the heat makes work difficult in the early afternoon.
- (2) b
- (3) c
- (4) airplane pilots make fewer mistakes if they take regular naps

全訳

nap (昼寝; 仮眠) は短い昼間の睡眠のことだ。世界中の多くの地域では日中に昼寝をする。このことは、昼過ぎの暑さが労働を困難にする温暖な気候において特に当てはまる。現在研究者は、昼寝はどんな気候の下であれ全ての人に良いと言っている。まず第一に、毎日の昼寝は心身にさらに多くの休息と多くの健康的恩恵を与えることを意味する。昼寝が伝統になっている国々では、人々はストレスや、心臓疾患のようなストレス関連問題に苦しむことが少ない傾向がある。昼寝のもう一つの恩恵は、仕事上の能率を上げることだ。公共安全に関係する職務において、仮眠〔昼寝〕は重要な影響を与える。例えば、様々な研究により、航空機のパイロットは規則的な仮眠をとると間違いが少なくなることがわかっている。

E2TS/E2T
高2 難関大英語 S
高2 難関大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製